

平成30年度埼玉の子ども 70 万人体験活動

狭山市立入間野中学校

赤ちゃんふれあい体験

生命の尊重



第3学年

特色

- 妊婦体験や赤ちゃんとの交流を通して、「命の力」「命のつながり」を感じ、自己肯定感を高め、自己と他者の心と体を大切に思う心を育てた。
- 生命の大切さについて理解し、他の人と共により良く生きようとする態度を育てることで、人権を尊重する理解を深めた。

生徒の感想

- 親が自分を生んでくれたことへの感謝に改めて気付いた。私たちは自分だけで生きているのではなく、沢山の人の支えられて生きていることに感謝して日々生活したいと思う。
- 両親が大事に私のことを思って育ててくれたから、今このようにしていただけるんだということを感じた。両親からもらった命を大切に生きていこうと思う。

成果

この体験を通して、生徒たちは「命の大切さ」「親子の絆」「相手を思いやる気持ち」等を学び、自己と他者を大切に、人権意識を高めることを学び、自己肯定感を高めることが出来た。